

様式（第5条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度第2回行田市郷土博物館協議会
開 催 日 時	令和5年3月9日（木） 開会：午前10時00分 ・ 閉会：午前11時15分
開 催 場 所	郷土博物館2階 会議室
出席者（委員） 氏 名	荻原 章 安藤秀一 重田正夫 滝澤布沙 若松良一 大山能則 板垣時夫 宮本伸子 高橋秀男
欠席者（委員） 氏 名	新井哲也
事 務 局	館長 鈴木紀三雄 主査 浅見貴子 主任 澤村怜薫 主任(再任用)竹井律子 主事 岡本夏実
会 議 内 容	令和4年度下半期事業報告 令和5年度上半期事業計画 その他
会 議 資 料	令和4年度第2回行田市郷土博物館協議会次第 令和4年度第2回行田市郷土博物館協議会資料
そ の 他 必 要 事 項	傍聴人なし

発 言 者	会 議 の 経 過 (議題・発言内容・結論等)
事 務 局 (浅 見)	<p>1 開会</p> <p>本日の出席について、委員10人のところ9人である。行田市郷土博物館協議会条例第7条第1項で規定のとおり、過半数が出席しているので開催する。</p> <p>市民憲章唱和は、新型コロナウイルス感染予防対策の一環として省略する。</p> <p>なお、本日の会議は公開となっている。(傍聴人なし)</p> <p>また、議事録は市のホームページで公開する予定である。</p> <p>2 あいさつ</p> <p>行田市郷土博物館 館長 鈴木 紀三雄 行田市郷土博物館協議会 会長 若松 良一</p> <p>3 議 事</p>
事 務 局 (浅 見)	<p>これより議事に入る。進行は会長にお願いする。</p>
若 松 会 長	<p>本日の議事については議事録を作成する予定である。議事録の最後に確認の署名を2名の方から頂戴したい。この場でどなたかにお願いしたい。事務局より提案はあるか。</p>
事 務 局 (浅 見)	<p>それでは、名簿の順番で重田委員、滝沢委員にお願いしたい。</p>
若 松 会 長	<p>事務局の提案でよろしいか。</p>
委 員	<p>よろしい。</p>
若 松 会 長	<p>それでは、2名の方をお願いする。</p> <p>では、次第に従って議事に入る。</p> <p>まず(1)の令和4年度下半期事業報告について事務局より説明をお願いする。</p>

事務局	<p>(事務局より、管理部門 資料を説明)</p> <p>(事務局より、学芸部門 資料を説明)</p>
若松会長	<p>ただいま事務局より説明があったが、どなたかご質問や意見等があったらお願いします。</p>
重田委員	<p>資料7ページ展示について、図録の作成についても詳細に表記できないものか。展示に伴い作成したリーフレットなど資料の作成についての記録も残しておいた方が良いと考える。</p> <p>もう1点、資料9ページから10ページ、「学校との連携」の「総合学習・社会科学等への対応」に小学校、高校の他に大学への対応の記録があるが、本館の特徴を出すうえでも(大学などの)研究者に対応するものと(小学生などへの)普及事業とは項目を分けて記録してもいいのではないか。</p> <p>博物館実習は実施しているのか。そういった事も別に記録したら良いのではないかと思う。</p> <p>研究的な視点からの記録も残すことで、基礎があるからこそ色々な事ができるんだと皆様に理解していただけるのではないか。</p>
若松会長	<p>博物館を評価する際に使用されるものとしては、入館者数や普及事業の実施などがあるが調査研究という事柄も表に出してもよいのではないかという重田委員からのご指摘であるが、今後、博物館法における博物館の評価・査定などがあることを前提にすると、実績として明記して、多くの人に「研究がなければ博物館ではない」ということを知らせて行ったらいいのではないか。</p>
事務局 (澤村)	<p>刊行物、発行物については、以前の協議会でご意見をいただいていたので、今後、資料に掲載したい。</p> <p>また、今年度は研究報告第11集を刊行予定であるがことを補足する。なお、博物館実習については上半期事業として前回の第1回協議会で説明させていただいている。実習は7月から8月にかけて実施し滞りなく終了することができた旨を報告する。</p> <p>最後に、「学校との連携」に大学が2件入っていることについては、性格が少し異なっているため説明の方法を変えていきたいと思う。なお、一緒になっている理由としては、教育目的の入館料の減免対象を一括で管理していたことからである。</p>

若松会長	<p>私からもひとつお願いがあるが、展覧会など開催の基本計画なども具体的な内容が分かるように表記いただくとありがたいと思う。</p> <p>他に何か意見等はあるか。</p>
板垣委員	<p>資料4ページの月別入館者数について、総計は2月末時点で昨年度一年間を上回っているという事であるが、昨年度と比べて入館者が減少している月があるがどんな事が考えられるのか。</p> <p>5ページの「収集」の「本年度寄贈資料」について、稲荷大明神祭具はどのような形で伝わりどのような時に使われたものなのか記録に残してほしい。特に、このような祭具は後継者不足等で民間信仰に基づく行事の実施が困難という理由で今後も寄贈が増えるのではないかと推測できる。受け入れる際には、その歴史と使用方法も詳細に記録する事が大事になる。</p> <p>よく民具などでも伝承や使用方法が不明である事例が多々あるので受け入れの際には記録が必要である。</p> <p>私からは、以上2点である。</p>
若松会長	<p>まず、入館者が昨年度に比べて減少している月は、9月・12月・1月であるが、その原因について、事務局の考えをお聞かせ願いたい。</p>
事務局 (浅見)	<p>9月は、夏休み明けでコロナ感染者が急激に増加し、多くの人が外出を控えた時期であり影響が出たと考えている。</p> <p>12月・1月の減少については、前年度、今年度と行田おもてなし観光局が団体旅行について「行田市・貸切バスによる団体型旅行促進事業助成金」を実施しており、昨年度団体客の来場が増えました。この制度を利用した団体見学の影響が考えられる。助成金を利用した旅行会社のツアーは、昨年度は12月・1月も多く企画されていたが今年は10月・11月にピークがあったための増減比と考えられる。なお、この制度は今年度で終了となるため、次年度のこの時期には多少の減が出るものと考えている。</p>
若松会長	<p>冬場の閑散期に入館者を増やすことは大変であるという事を承知した上の質問であるが、よく検討していると思う。</p> <p>2点目の質問、収集時の記録について事務局からお願いしたい。</p>

事務局 (澤村)	<p>5ページ「収集」の「本年度寄贈資料」9番に記載されている稲荷大明神祭具の受け入れを担当したので答えさせていただきます。</p> <p>これは、行田の本町通りで古着屋を営んでいた方から寄贈を受けた屋敷稲荷に類する資料である。</p> <p>農村部の屋敷稲荷は自分の屋敷内に関するものであるが、町場の屋敷稲荷で珍しい部分が一点あり、稲荷大明神という額を構えていたということで、おそらく町場の祭礼の時にこちらの稲荷を開放してみんなが拝めるような形になっていた可能性がある。のぼり等も立てていたという伝承も聞き取っているので今後更に調査を進めていきたい。</p>
若松会長	<p>私の県の学芸員仲間が行田市の屋敷稲荷信仰について論文を書いている。行田市は特徴的に稲荷信仰が盛んである。また、昔は「初午」も盛んであったという事であるので、館として調査を進め成果発表の機会を作っていただきたい。</p>
板垣委員	<p>以前の民俗調査で、行田市内では「初午」の際、個人の大きな家に地域の皆が集まり行事を行っていた事などが分かったので、その辺のところの補足もお願いしたい。</p>
若松会長	<p>企画展「天正十八年」をご覧になって感想を持たれた委員がいたらお聞かせ願いたい。</p> <p>まず、私の感想としては、開催期間中の入館者が15,000人を超えた事からも成功であると考えている。周知も上手く展示内容も良く感心した。特に今回は図録も論文と同様の価値があるのではないかと思うくらいの出来栄である。各博物館等へも配布している事と思うが、行田市を理解してもらうには重要な一冊で、良い宣伝になっていることと思う。</p> <p>他に何か意見等あるか。</p>
高橋委員	<p>来館者のアンケート結果をみても、館内情報以外のツールで知った方が多いところから周知の方法が成功したと思う。</p>
若松会長	<p>周知方法の一つであるポスターは熊谷駅などに有料で掲示する予算はあったのか。</p>

事務局 (浅見)	<p>ポスターについて、JRへの駅貼りは有料となる事もあり、行っていない。秩父鉄道は無料で協力いただいている。</p> <p>ポスターは、自治会にお願いする他に商店や銀行、観光案内所にも持参し掲示協力をいただいている。</p>
若松会長	<p>ポスター貼りについては、行田市は自治会単位で掲示板を持っていて市内いたるところにポスターが掲示されていて実に良い方法である。</p> <p>展覧会の成功には周知が重要であるが、そのためには担当の学芸員の他に副担当を付けて分担する必要も大事である。</p> <p>他に何か意見等あるか。</p>
宮本委員	<p>「天正十八年」の図録は立派で内容も充実している。確認であるが、この様に博物館で出版する刊行物は、国会図書館へも納めているのか。</p>
事務局 (館長)	<p>国会図書館へ納めている。他の各図書館へも配布している。</p>
若松会長	<p>永久に保管していただける図書館があるという訳である。では、(1)の令和4年度上半期事業報告については終了する。</p> <p>次に、(2)の令和5年度上半期事業報告について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(事務局より、管理部門 資料を説明)</p> <p>(事務局より、学芸部門 資料を説明)</p>
若松会長	<p>ただいま事務局より説明があつたが、どなたかご質問や意見等があつたらお願いします。</p>
板垣委員	<p>「三方領知替 200 年行田市・桑名市・白河市友好都市締結 25 周年記念合同企画展」、いわゆる 3 市合同展について、展示方法や図録の作成はどのような方法で行うのか教えてもらいたい。</p>
事務局 (浅見)	<p>白河、行田、桑名の順番で巡回するものである。展示内容は 3 会場とも共通した内容で開催していく予定であるが、各館で会場の</p>

	大きさが異なることや館の性格、特徴が異なることから、若干のアレンジは入る事と思われる。刊行される図録は3市合同で同じ内容の物を1冊作成する。
若松会長	経済的には無駄を少なく実施されるということである。 確かに3市とも会場の大きさは違うので、各館で地元中心の展示で良いかと思う。
事務局 (浅見)	各館で展示面積が違うという課題はあるが、展示ボードは共通のもので、プラス開催市の館の資料を展示するかたちとなると思う。
若松委員	特別な予算はつくのか。
事務局 (浅見)	3市合同展実行委員会を結成する。各市から、この実行委員会へ補助金が入ることになっている。
若松会長	市の宣伝の場としても重要な展覧会になるので、私たちが協力できることは入館者を増やすために周知を徹底することである。 その他にご質問や意見等があればお願いしたい。
大山副会長	博物館法の改正伴う行田市郷土博物館としての事業を何か考えているのか。
事務局 (館長)	博物館法の改正では、博物館に求められる役割・機能の多様化・高度化であり、博物館資料のデジタル・アーカイブ化の追加があることから、今回の会議資料には明記していないが、現在、本館では収蔵資料のデータベース化を進めている。
大山副会長	文化的なものも取り入れると言っていたようであるがどうか。
事務局 (館長)	「文化観光」という面があげられる。ただの観光ではなくその歴史や文化等を題材にした観光である。そういったことを地域と連携・協力しながら博物館もやっていこうという努力義務である。 行田の観光といえば歴史と切り離せないので、DMO(観光地域づくり法人)であるおもてなし観光局と連携した事業を考えていくところである。

	<p>本年度においても入館者数が10月・11月と増えている訳だがDMOで「行田市・貸切バスによる団体型旅行促進事業助成金」を利用するツアーを組んでいただいた成果であると考えている。</p>
<p>大山副会長</p>	<p>DMOの事業によって、博物館の入館者が増えることはありがたいことである。</p>
<p>事務局 (館長)</p>	<p>DMOの助成金を利用するための要件の一つに、市内有料施設1ヶ所入館とお土産を購入するために売店1ヶ所立寄とあるのだが、市内の有料施設は、本館と、さきたま史跡の博物館、古代蓮会館タワー、売店は、古代蓮の里売店、観光物産館ぶらっと♪ぎょうだであり、DMOの考えでは、夏は古代蓮、秋以降は博物館の観光をということであったようでありがたかった。今後も、協力しながらやっていきたい。</p>
<p>若松会長</p>	<p>行田市は歴史文化財に恵まれているので、なんとか知恵を出して文化観光の推進にも取り組んでいただきたいものである。他に何かご意見はあるか。</p>
<p>滝沢委員</p>	<p>「天正十八年」の図録はすばらしい。表紙のデザインやマットな紙質を目にするだけでも行田市の格が上がっていると感じる。天正18年以降の行田市の歴史についてシリーズ化をしたら良いと思う。行田市には城があり絢爛豪華な歴史とそれを下支えしてきた民のなかにも非常に立派な人達もいて、本市の郷土文化が続いてきた。近年では足袋ということに着目度があがり観光とむすびについて素晴らしいと思っている。この様に、「天正18年以降の徳川家を支えた」という続編としてシリーズ化がされると良い。</p>
<p>若松会長</p>	<p>図録についてのお褒めの言葉をいただいた。この、図録は、どこに持って行っても恥ずかしくないデザインとオールカラーという事が良い。10年ほど前は白黒のページも有ったが、カラー化することは素材も選ばなくてはならないという事である。</p>
<p>滝沢委員</p>	<p>やはり、城のない地域と比べると城下町であるという事は強みである。観光客もこのような図録を見ることで本市について良い印象を与える事ができるのではないか。</p>

若松会長	これは、博物館以外でも売っているのか。
事務局 (館長)	企画展開催中に限り、DMOの観光物産館ぶらっと♪ぎょうだに置いていただいた。
若松会長	来年度の3市合同展も考え方によっては続編ともいえるのではないかと。また立派な図録ができること期待する。 他に教育現場でも三方領知替200年という節目の年について、取り組み等でご助言いただきたい。
荻原委員	忍小学校としては今年度からであるが、前身にあたる中央小学校では、コロナ禍の前は白河市と子供たちとの交流を年毎に続けていた。そうした記憶・記録は現在もしっかりと残っている。そうした先輩たちが行ってきた交流を今後も今の子供達に引き継ぎ、白河の事を知り、なぜ交流しているのかを学習する事、それが子供を通して保護者に伝わる様な形であれば良いと考えている。 子供達は今、歴史好きの子が増えており、小学校3年生位でも色々な城の本が見たいと借りていく。特に本年度は、忍小学校校庭の工事の関係で文化財保護課が発掘調査を行ったこともあり、発掘された昔の遺構などを実際に目にして一層関心が高まっている。 コロナ禍前は、博学連携で子供達が博物館での調ものや解説員の体験などを通して学習していたことから、このようなことも何らかの形で復活し、来館者の増加につながれば良いと思う。白河との交流の件については、今後も残していきたいと考えている。
若松会長	心強いお言葉をいただいたところである。子供達への普及事業は大事なことである。現在でも、本館の教育普及事業は充実しているところであるが、再確認をしていただきたいがいかがか。
事務局 (浅見)	現在、小学生・中学生を対象にしたミュージアム通信というものを季節ごとに発行し配布させていただいている。 その内容について、専門用語ではなく子供達にわかりやすい言葉でかみ砕いた解説をすることを心掛けている。展示においても、子供向けにわかりやすい資料を抜き出し子供向け解説を行っているところである。子供達が関心をもち理解が及ぶような展示を心がけているところである。

若松会長	<p>令和5年度事業計画について、何かご質問はあるか。特にないようであれば令和5年度事業計画については終了する。</p> <p>次に、(3)その他について、説明を事務局より願います。</p>
事務局 (浅見)	<p>(3)その他について、今回、特に議題としてあげるものはない。</p>
若松会長	<p>では、ここで私からお礼とお詫びを申し上げたい。</p> <p>本年度は、委員の視察研修について事務局で対応いただき計画いただいたことに感謝する。だが、日程が至急となってしまう参加者が少なく視察研修は中止となってしまった。</p> <p>今後、機会があれば日程の候補日を多く取り余裕をもって調整し多くの委員の参加をいただきたく実行できればと思う。</p> <p>他に意見等なければ、以上で議事を終了する。皆様の御協力で議事がスムーズに進行したことに感謝を申し上げたい。それでは、議長をおろさせていただく。</p>
事務局 (浅見)	<p>本日は長時間にわたり御審議いただきありがとうございました。それでは、閉会のご挨拶を副会長よりお願いしたい。</p> <p>4 閉会 あいさつ 行田市郷土博物館協議会 副会長 大山能則</p> <p>※博学連携展 展示見学</p>